

打抜きプレスで県知事表彰

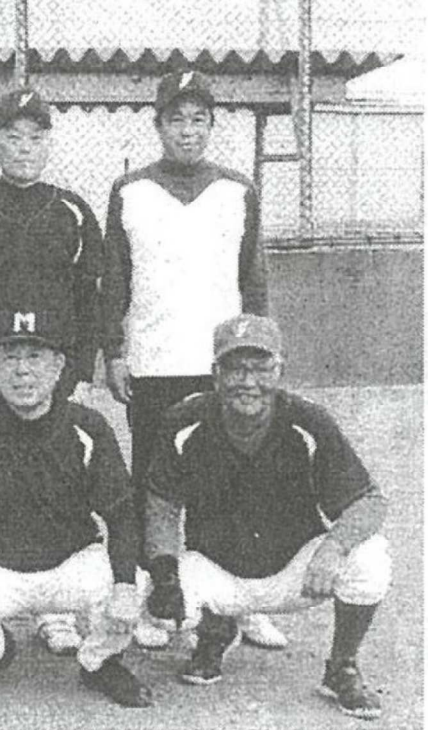
卓越技能者の森久次さん



独自性を発揮、提案型加工技術

奈良県では、広く社会に技能尊重の風土を浸透させ、技能

者の地位・技能水準の向上を図るため、卓越技能者を表彰し



ている。今年度は県から3人のうち大和高田市から(株)M・T C(大字大谷)代表取締役の森久次さん(56歳、大谷)Ⅱ写真Ⅱの受賞が決まり、県知事から表彰された報告を吉田誠克市長にした。

受賞した職種は打抜きプレス。会社は1968年金属プレス加工業として創業

した。県内ではトップクラスのプレス機保有台数を誇り、大手住建メーカー・鋼製家具メーカーなどからユニットバス・デスク棚等の金属部品加工を請け負っている。プレス加工は「プレス回数×1回プレスあたりの加工単価」で加工賃が決まる。

森社長は金型設計、プレス加工方法、工程等を改善して創意工夫を行った。プレス回数を減らすと同時に加工単価引き上げ利益率を改善し、

尚且つ総加工賃(価格)を引き下げる事に成功した。この提案型加工技術が高く評価された。

また、順送プレス加工で、金型設計から多段階制御システムを用いた独自の加工技術を駆使したランダムピッチ送り2乗取り入れ方式を考案したほか、独自に加工技術を取り入れた新カシメ法の確立を行った。

創意工夫は先祖譲りのチャレンジ精神と先取精神の賜物。森さんは2代目で、

くみとり予定▼20日 中三倉堂1・2丁目、甘田町▼21日 曾大根▼22日 南陽町、蔵之宮町、甘田町、今里、旭北町、旭南町

同社の創意工夫の精神は明治時代に活躍した大和高田出身の発明家で、森社長の先祖にあたる藤田孫太郎に遡ることができる。藤田氏は様々な織機を次々と発明し、蒸気機関を用いた自動織機まで生み出した偉人。そのチャレンジ精神と先取の気風が今も同社に受け継がれている。

白球を追う輝く目

還暦野球倶楽部 「奈良ヤマト」

「楽しくて、楽しくて」と、創部4年目の還暦野球倶楽部「奈良ヤマト」メンバーたち。軟式野球を通じ健康で豊かな

年明けから2月まではオフで、野球シーズンとなると大会がある。昨年7月マ

ンマイ」などと、みんなが笑顔で応える。結果的に優勝できたから、こんなうれしいことはない」と言う。

張り切る81歳 大人の野球も少年